

中小学校だより

January 31st. 2020 No. 10

「中小サロン」での素敵なふれあい

・重里のサロンで言ったことを参考にして、お茶の時間や歌の時間をつくりました。高齢の方は歌が好きだと聞いたので、一緒に歌えるものを選びました。司会の仕方を考えて、みんなで分担しました。名札もたくさん作り、スムーズに進行できるようにしました。

当日は、人が来る前から笑顔が心がけました。そして、高齢者の方がみえたら最初から最後までにこにこしました。お茶の時や遊びの時に、同じグループの人とたくさんお話をしました。隣の方ともたくさん話せたし、すごく楽しそうにしてくれたのでうれしかったです。グループのおばあさんが「もし道で倒れていたら助けてね。」と言っていました。サロンは人と助け合いのつながりをするところでもあるから、私が助けていきたいなと思いました。すごく自分も楽しめたいし、いろいろな方と知り合いになれてうれしかったです。また機会があれば参加したいです。(6年生児童の振り返り)

1月15日(水曜日)に「中小サロン」が開催されました。この日のために、6年生は「総合的な学習の時間 ふなき」の学習で、学び、考えたことをプロジェクトチームに分かれて念入りに準備してきました。

前日になっても、6年生は手を緩めることはありません。「来ていただいた方が靴を取り違えてはいけない。」「どうしたら、靴の取り違えを無くすことができるか。」「靴につける札を厚紙で用意しました。自分の担当の物を準備したら終わりではなく、細部まで「来て頂ける方の気持ち」をことん考えて準備をやりきる6年生に感動すら覚えました。

そして迎えた当日、参加された方々から嬉しい感想をいただきました。以下はその一部です。



この度の中小サロンには御礼申し上げます。ご苦勞様でしたね。ありがとうございました。各グループに2人ずつ入り大人を相手に最初から主導権を握ってゲームの進行等をスムーズに行いました。大人でもあれだけスムーズにはできないと思います。今回一番良かったのは、全員が楽しく過ごせたことだと思います。これからもこんなサロンが続いていってくれたら・・・と心より思います。

皆さんのアイデアと手作業で色々もてなしてくれてありがとう。最近の日々は皆さんのような小学生と話すことも少なくなってきました。さびしいことです。私たちの子どもの頃は、よく近所の大人に怒られたり一緒に遊んだりもしました。今はそんなこともなくなりました。そんなことを思い出して皆さんのもてなしに感謝していました。合唱も大変よかったですよ。来年もやってもらおうと嬉しいよ。

初年度である今年は、いろいろと「生みの苦しみ」もありました。それでも、参加された方の中には「久しぶりに笑った!」というお声も多くあり、6年生にとってはまさに「頑張った甲斐のあった」会になりました。先月号で高齢の方の人命救助をしてくれた事案を紹介しましたが、中小学校の子も達は、学校で学んだり考えたりしたことを、地域で大いに発揮できる素敵な子ども達です。

いよいよ来月は「ふなきの会」もあります。これまでの総合的な学習の時間や教科の学習で培った力をおおいに発揮できる会です。それぞれの学年が発表に工夫を凝らし、限られた時間を精一杯使って練習を重ねています。それが終わると、いよいよ進級や卒業に向けての取り組みも始まります。さらに一歩前に進む・・・そんな2月です。

三行詩コンクール(岐阜県表彰)で中小学校の保護者から入賞作品がでました
オープンスクールの折にも「岐阜県PTA連合会主催の三行詩コンクール」の応募についてお願いをしましたが、保護者の皆様からも例年以上にたくさんのご応募がありました。
そういった中で、中小学校の平野 亜衣さんが一般の部で見事入賞されました。
入賞作品は次の作品です。おめでとうございます。

「母ちゃん、電池なくなりそう」と言うと
グューツとしてくれてすぐに充電完了。
いつまで充電してくれるかな？